



～お知らせ～

4月21日（日）に補償業務管理士の筆記試験が行われました。新潟試験場での受験者数は、延べで約200人。必須の「共通科目」は、約100人でいずれも昨年並となっており、まだまだ補償業務管理士資格の人気は、下がっていないようです。

当社からも数人がチャレンジしました。是非、合格を！
筆記試験を合格したら7月中旬に口述試験が行われ目出度く「補償業務管理士」の誕生となります。

ここで補償業務管理士になるための仕組みを簡単に照会します。補償業務管理士試験（正式には検定試験）には、「共通科目試験」と「専門科目試験」の2種類があります。「専門科目試験」には、「土地調査、土地評価、物件、機械工作物、営業・特殊補償、事業損失、補償関連、総合補償」の8部門があります。補償業務管理士資格を得るには、この「共通科目試験」と「専門科目試験」の両方に合格しなければなりません。ただし、国家資格を持っている人は、特例として「専門科目試験」が免除されます。例えば、測量士であれば「土地調査」、建築士であれば「物件」と「事業損失」、不動産鑑定士であれば「土地評価」、会計士であれば「営業・特殊補償」。しかし、「共通科目」については特例がないので何としても合格しなければなりません。



さて、いよいよ今週の土曜日から「大型連休10日間！」。ATMや新潟交通のバスなどは、休日モードで動くとのこと。一安心です。ゆったりと時間を過ごし英気を養って下さい。

「奇跡をつくる、1人になろう。TOKYO 2020 ID 登録受付中」とのこと。
2020年東京五輪チケットの購入申し込みの受け付けが5月9日に始まります。購入までは様々な手続きが必要となるようです。注意点などをまとめてみました。
①まず大会組織委員会のホームページで「TOKYO 2020 ID」に登録します。メールアドレスや住所、氏名、生年月日、電話番号を登録し、IDを取得する。IDは1人につき1つ。
②販売専用サイトがオープンしているが、実際に受け付けるのは5月9日午前10時から同28日午後11時59分まで。希望者が殺到するチケットは抽選だそうです。
③チケットは半分以上が8000円以下で購入できる。ただ開会式は最高で30万円、男子陸上の100メートル決勝を観戦できるチケットも最高13万円と高価！ 転売禁止とのこと。詳しくは、大会組織委員会のホームページをご覧ください。

オリンピックと言えば「おもてなし」。「おもてなし」には英語が重要。先日、「英語教育実施状況調査」の結果が発表されました。政府の目標とする水準の英語力を持っている中学3年は42.6%、高校3年は40.2%に留まったとのこと。新潟は中学31.6%、高校35.4%、富山は中学44.6%、高校54.8%、石川は中学50.0%、高校45.5%でした。

北陸で子供をバイリンガルにするためには中学を石川で、高校を富山で学ばせれば！

Have a great long vacation !

○ホームページを開設しました！ www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い 「Aipo」を活用してください。

